



しょうぎんNEWS

12
2022.Dec.
No.012

信用組合 愛知商銀 〒453-0013 名古屋市中区区亀島一丁目 6 番 18 号 TEL (052)451-5145 (代) <https://www.a-sg.jp/>

第2回しょうぎんカップが 開催されました！

長引くコロナ禍においてなかなか開催することが叶わなかった、当組合主催の合同ゴルフコンペ「しょうぎんカップ」が約3年ぶりに開催されました！ 第2回となった今回は、営業店エリア毎に開催日・場所を分けて計3日間の開催となったものの、全日程において天候に恵まれ、参加者総数 153 名という一大イベントとなりました。豪華景品をかけた個人戦のほか、営業店別の対抗戦もあり、中には見事ホールインワンを成し遂げられたお客様もいらっしゃるなど、しょうぎんカップは大いに盛り上がりを見せました。ご参加いただいたみなさま、誠にありがとうございました！



今後も定期的に
合同イベントを
開催予定！

ご期待
ください！

3年ぶりのゴルフコンペの
開催に合わせ、なんと限定
デザインのトントくんも
リニューアルしていました。



しんくみの日週間

毎年9月1日から9月7日まで、「しんくみの日週間」として、全国の信用組合で社会奉仕活動やイベントを実施しています。当組合でも、公共施設周辺の清掃や献血活動を通じて、「しんくみ」という業界組織の周知活動を行なっています。今年は、38名の役員が献血に参加し、66名が清掃活動を行ないました。また、「花いっぱい運動」として例年「しんくみ」ブランドイメージカラーの花の種をお配りしておりますが、今年お配りしたのは、花びらがボリュームたっぷりで愛らしい「フレンチマリーゴールド」の種でした。ちなみに、フレンチマリーゴールドの花言葉は「いつも側に置いて」。お客様に寄り添って共に歩いていく「しんくみ」にぴったりの花なのです。

▼フレンチマリーゴールド
(写真はイメージです)



▼歩道を清掃する今池支店職員



▶本店職員は、
亀島駅出口付近で清掃活動を
行ないました



▶献血も、
身近に出来る社会奉仕活動の
ひとつです



小さな助け合いの物語賞

当組合のお客様が「ハートウォーミング賞」を受賞されました！

毎年夏から秋にかけて開催されております、懸賞作文「小さな助け合いの物語賞」にて、当組合のお客様が「ハートウォーミング賞」を受賞されました！ 人と人との確かな繋がりが感じられ、胸に響く作品です。こちらに全文掲載させていただきますので、ぜひご覧ください。

顔を知らないあの入

山本花鈴

私が小学校五年生の時、学校で「一人暮らしの年寄りへ元気を送ろう」という取り組みで近所の年寄り六人へ暑中見舞いを送った。水彩絵の具で西瓜や海を小学生らしい絵柄で描いた絵葉書を放課後猛暑の中直接届けに行った。坂の多い住宅街を歩き回るのは大変だったのだが、中にはジュースをご馳走してくれる方もいて、玄関先で飲む冷えたジュースはとても美味しかった。五枚のハガキを直接渡すことができ、残りの一軒のインターホンを鳴らしたのだが、返事もなく誰も出てこない。もう一度鳴らしても同じだったため、留守なのだと思うとポストへ投函して帰宅した。

二週間後のある日、見慣れない名前の方から一枚のハガキが届いた。「素敵なお手紙ありがとう。先日は家に居なくてごめんねさい。とても綺麗な絵葉書ですね」フランスのエッフェル塔が描かれているとても綺麗な絵葉書の差出人の苗字は、あの留守だった家の表札と同じものだった。その日を境に私達は文通をするようになった。そこで相手は七〇代女性で、旦那さんが他界されて以来一人暮らしであること、娘さん一家は県外に住んでいることを聞いた。

そして、中学一年生の春になった。明るい新生活が始まると思つた矢先に私の母の癌が見つかった。治療のために引越すことや、母親が亡くなるかもしれないことへの今まで感じたことがない恐怖感で毎日不安で仕方がなかった。妹が幼く、父も忙しかったため、姉である私がしっかりしないといけない。そんなプレッシャーを感じていた私を支えてくれた人は身内ではなく、文通相手の女性だった。その一年半後に母親が亡くなったから行き詰まった私を励ましてくれたのも、文通相手だった。

だが、中学三年生の半ばに、相手から連絡が途絶えてしまった。私は受験シーズンだったこともあり、気にも留めていなかったのだが高校一年生の春に一枚の手紙が届いた。その内容は、文通の相手だった女性が半年前に他界されたことを知らせるものだった。差出人は文通相手の娘さんで、私が送った手紙を見つけて連絡をくれたのだという。「自分の孫には長期休みにしか会えず、一人寂しい老後生活を送っていた母にとって文通はささやかな楽しみだったと思う」と言われた私は思わず泣いてしまった。

もとは「一人暮らしの年寄りを一人にしない」という取り組みから始まった文通だったのに、実際は私が辛い時、行き詰まった時、高校の選択に迷った時など、一人で不安な時に助けて貰っていたのだ。感謝の言葉を述べようにも本人はもうこの世にはいない。いつか、私も他人の心の拠り所的な存在になれるような人材になりたい。そして、この場を借りて天国の女性に感謝を述べたいと思います。本当に有難う御座いました。

金融 豆ちしき

素朴な疑問の答えや、暮らしに役立つ金融情報をお届けします！

第4回 ～「お年玉」の由来って？～

この時期になると、大人も子供も気になり始めるのがお年玉の存在。お正月、子供にお金をプレゼントするものという認識が広く浸透していますが、元々の由来の一つに「歳神(としがみ)」様が関係しているというものがああります。歳神様は、年末年始に祀られていた、五穀豊穡を司る神様です。年末にお供えした丸餅を、歳神様が帰られるタイミングに「お下がり」として家長から家族や奉公人に分け与えることで、一年の健康と豊作にあやかることができると言われていました。歳神様は、魂を丸餅に込めて帰られることから、「歳神様の魂」を「としまま」とした説、一年の最初に賜るものとして「年賜(としまま)」と呼んだ、という説が主な由来として言い伝えられています。



各種商品のご案内

すまいる定期預金

今がお預け入れのタイミング！

当組合の定期預金の中で、もっとも幅広い方からご好評をいただいているのが、こちらの「すまいる定期預金」となっております。一口100万円から作成することができ、**お預け入れの際の年齢制限も、預入上限金額もありません！**(※ただし一口1,000万円まで、複数口作成可能)。長期間使う予定が無いまとまった資金は、ただそのまま普通預金口座に入金しておくよりも、定期預金としてお預け入れしていただいた方が断然おトクです。「すまいる定期預金」は、預入期間を1年・3年から選択することができ、それぞれ組合員金利が**0.2%・0.3%**(年)となっております。ボーナスシーズンの今、余剰資金の活用方法を今一度見直してみませんか？

